

平成 22 年度 第 1 回ものづくり大学同窓会理事会議事録

日 時：平成 22 年 4 月 24 日（土）13：30～

場 所：ものづくり大学中央棟 2 階 C2010 室

出席者：倉川、岡崎、上原、加藤、坂口、大塚、関、宮本

欠席者：戸田、後藤、吉田（議長へ委任あり）

配付資料：同窓会 3 つ折りパンフレット、ものづくり大学同窓会寄付金の受入れについて、
さきたま火祭り会場案内図、道具箱型筆箱説明書

記 録：加藤

（敬称略）

<<審議事項>>

1. 寄附金受け入れについて

事務局より、寄附金の運用等について説明があった。下記の意見があり、「寄附金の受入について」に下記事項を追加することで了承された。（資料 1・資料 2 参照）

・2-同窓生のための勉強会で、建築工事監理指針等の指針が改訂された際に、改訂事項等の説明会を実施しても良いのではないかと。

2. 大学施設の利用について

卒業生が大学の施設・設備を利用出来るような仕組みを構築した方が良いのではないかという意見があった。下記の事項を踏まえ 6 月中に原案を作成することとなった。なお、原案については、メール審議とすることとなった。施設使用料の免除交渉については、宮本学生課長が交渉することとなった。

・使用者には計画書等を提出させ、用途や使用する施設・設備を明確にし、申請にあたっては同窓会にて作成した書式を、会長名等で大学に提出するようにした方が良いのではないかと。

・現在施設利用には費用がかかるが、それを免除にして貰えるよう交渉する。

3. 理事会の開催回数について

昨年は、新事業等の打合せ等の関係で総会も含め 6 回の開催であった。今年度は、メール審議可能な場合はメール審議することとし、年度初め・総会前・年度末の計 3 回の開催とすることとなった。

4. 同窓会からの連絡に対する返信について

メールの返信について、下記の通り了承された。

返信期日：3 日以内

宛先；同窓会理事会メンバー全員

5. 総会の内容について

・「最終講義（仮）」の実施について

次回理事会総会（10月末）で、定年を迎えた先生に講義を行ってもらってはどうかという意見があった。「最終講義」を目的として実施する場合、実施時期が早すぎるのではないかという意見や実施して貰える教員がいるのかという意見があり、教員と打合せ等実施後、再度検討をすることとなった。

Ex) 22年度で定年の神谷先生・櫻井先生。

・総会の開催日について

過去2回の総会の開催日が日曜日であり、同窓生の出席率が低迷しているのではないかという意見があり、今年度の総会は土曜日（10/30）とすることとなった。

・懇親会について

同窓生だけでなく、現役生・教職員・非常勤講師が気兼ねなく参加出来るように屋外（バーベキュー等）で行ってはどうかという意見があった。屋外での火の利用は、大学内規則等があることから、大学内で実施可能か確認後、検討することとなった。

・今後の同窓会の運営について

同窓会活動の更なる周知と自主性を確立するために、今後は事業報告書の作成など活動の明確化および透明化を図るとともに、同窓生の寄附金、外部の有料イベントの開催などによる経済的自立を目指した方策を模索していくこととされた。

<<報告事項>>

1. ポスターについて

事務局より、同窓会の存在を周知するため、3月中に学内に同窓会ポスターを掲示したことが報告された。

2. 三つ折りパンフレットについて

6月のオープンキャンパスから使用出来るように作成を進めることが報告された。

5月中に原案をメール審議することとなった。

3. 同窓会ブログについて

ものづくり同窓会でAmebaブログを始めたことが報告された。編集者は、同窓会会長と事務局のみであることも併せて報告された。

URL : <http://ameblo.jp/monodousoukai/>

4. ドーミトリの宿泊料について

ものづくり大学の規則の変更に伴い、ドーミトリ宿泊料が¥1,000（昨年度）から¥1,500（今年度）になったことが報告された。

5. 火祭りについて

- ・下記の通り、火祭り実行委員会と打合を行ったことが報告された。

打合日：2010年3月25日（木）

場所：さきたま公民館

参加者：火祭り実行委員会、同窓会事務局（上原、加藤、大塚、関）その他出展団体

- ・ものづくり教室の内容について、下記の通り内容が報告された。

【左官】デコレーションしよう！

内容…100均の写真立てにタイル等を活用しデコレーションする。

【木工】道具箱型筆箱をつくろう！

内容…道具箱のカタチをした筆箱をトンカチのみでつくる。

使用材料…道具箱型筆箱は、サイズが小さく大学の実習で出た廃材を活用して十分賄える材料が多い。大学の廃材を利用出来れば単価も安くなり、より安価で多くの人にもものづくりを体験して貰えるのではないかと。という意見があり、4月中に、廃材利用の承諾を得るため、会長名の書面を持って建設学科長（白井教授）及び専務理事（北尾専務）にお願いにあがることとなった。

道具箱筆箱の作り方…誰でも作れるように説明書を配布予定。説明書（案）が事務局より報告され、表紙にはものづくり大学のロゴマークとロゴタイプを入れた方がよいのではないかと。という意見があった。今後、大学にロゴマーク・ロゴタイプの利用の許可を頂き説明書に入れることとなった。なお、大学への対応は宮本学生課長が行うこととなった。

- ・今後のスケジュールについて

下記のスケジュールで了承された。

5月3日（月）火祭りの事前準備及び懇親会の開催。

【事前準備】8人

時 間：15：00～（本部棟図書館側自動ドア前集合）

参加者：上原・加藤・大塚・関・倉川・岡崎（仮）

【懇親会】

時 間：17：00～

参加者：上原・加藤・大塚・関・倉川・岡崎（仮）

【当日】9人

5月4日（火）8：00ものづくり大学ロータリー集合。

上原、加藤、大塚、関、倉川、岡部、金澤（もえ）、岡田めぐみ、浦部（前日のみ）

6. 今後のイベント参加について

さきたま火祭りの結果を鑑みて、浮き城祭りや時代祭りの参加を検討することとなった。

7. おもしろものづくり教室（大学イベント）への参加について

ものづくり大学で開催している、おもしろものづくり教室に、同窓会として参加することとなったことが報告された。同窓会は、全7回のうち2回を担当する。

・内容について

さきたま火祭りと同様とするが、制作時間等を踏まえて内容を後日検討する。

8. 平成22年度同窓会予算（学生課予算）について

宮本学生課長より、今年度（平成22年度）の同窓会の予算は付いていないことが報告された。今後、明確な予定を立てたうえで予算案を提出すれば補正予算に組み込める可能性があるとの説明があった。

9. 平成21年度同窓会理事交通費について

宮本学生課長より前年度交通費が振り込まれたことが報告された。

10. 次回の開催について

下記日程で開催することとなった。

日時：9月23日（木）13:30～

場所：中央棟2階C2010